

町職員人事異動

□敬称略()は旧所属
□旧所属と新所属が同じ場合は()の課名を省略

□退職(3月31日付)

八巻 司(出納室会計管理者参事兼室長)
鈴木佳代子(鏡石幼稚園参事兼園長)
伊藤美和子(鏡石保育所参事兼所長)
飛沢栄四郎(農業委員会事務局長)

□異動・昇格(4月1日付)

●課長及び課長相当職

総務課 課長 小貫 忠男(都市建設課 課長)
総務課 総括主幹兼副課長(総務担当) 小貫 正信(主幹兼副課長)
総務課 主幹兼副課長(企画財政担当) 根本 博(上下水道課 副課長)
税務町民課 参事兼課長 今泉 保行(総務課 課長)
都市建設課 課長 関根 邦夫(町商工会派遣・事務局長)
都市建設課 総括主幹兼副課長(事業担当) 角田 信洋(主幹兼副課長)
健康福祉課 課長 小貫 秀明(総務課 主幹兼副課長)
健康福祉課 総括主幹兼副課長(環境担当) 車田 光男(主幹兼副課長)
出納室 会計管理者兼室長 高原 芳昭(健康福祉課 課長)
農業委員会 事務局長 関根 学(税務町民課 課長)
産業課・農業委員会 主幹 揚妻 清一(健康福祉課 主幹兼副課長)
原子力災害対策室 室長 長谷川静男(教育課 主幹兼副課長)

●副課長及び副課長相当職

税務町民課 副課長(町民担当) 大河原正義(主任主査)
健康福祉課 副課長(福祉担当) 柳沼 和吉(副主任)
鏡石児童館 主任児童厚生員 矢吹美紀子(鏡石保育所 主任保育士)
産業課 副課長(農政担当) 円谷 康誠(税務町民課 副課長)
産業課 副課長(振興担当) 緑川 憲一(健康福祉課 主任主査)
産業課 主任主査 根本進一郎(都市建設課 主任主査)
上下水道課 副課長(水道担当) 小林 誠(主任主査)
教育課 副課長(教育担当) 菊地 勝弘(産業課 副課長)
鏡石幼稚園 主任教諭 矢吹久美子(鏡石保育所 主任保育士)

●係員

総務課 主査 大内 秀人(福島県実務研修派遣)
原子力災害対策室 主査 河合 範幸(総務課 主査)
税務町民課 主査 斎藤 則行(図書館 主査)
税務町民課 主査 内田慎太郎(群馬県大泉町より派遣)
税務町民課 副主査 星 雄之(産業課 副主査)
健康福祉課 主査 村岡 廣隆(税務町民課 主査)
保育所 副主任保育士 須賀妃見子(鏡石児童館 副主任児童厚生員)
保育所 副主任保育士 鈴木裕美子(鏡石幼稚園 副主任教諭)
上下水道課 主査 灘山 教史(税務町民課 主査)
教育課 主査 吉田めぐみ(上下水道課 主査)
図書館 副主任司書 菅野 亜紀(教育課 副主任司書)

□新採用(4月1日付)

塚原 健司(上下水道課 主事)
石井 秀樹(健康福祉課 主事)

鏡石町議会定例会

鏡石町議会3月定例会が3月5日(月)から15日(木)までの11日間の会期で行われ、報告1件、議案34件が議決されました。

◆主な議案について

平成23年度一般会計補正予算の議案では、4,932万円が追加され、平成23年度の一般会計は、合計で、77億2,281万円となりました。主な補正予算の内容では、果樹の除染に係る費用として3,000万円が計上されました。

その他の主な議案は、平成24年度当初予算、町暴力団排除条例の制定、第5期介護保険計画に基づく、介護保険料を改定する条例の制定などが審議されました。

◆第5次総合計画基本構想

町政運営の基本となる総合計画基本構想についての議案では、震災からの復興と新たな飛躍発展を視野に入れた「第5次総合計画」が策定されました。計画では、「かわる かがやく、牧場の朝のまち かがみいし」をキーワードに次の5つ

- をまちづくりの目標としました。
 - I 「町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！」
 - II 「心豊かな人を育て、地域文化を大切にする鏡石をつくります！」
 - III 「地域で支えあう、人にやさしい鏡石をつくります！」
 - IV 「新しい産業を开花させ、活力あふれる鏡石をつくります！」
 - V 「快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！」
- この第5次総合計画については、広報かがみいし5月号で特集する予定です。

平成24年度予算主要事業

一般会計

◆災害復旧事業費

- 「被災した第一小学校校舎改築事業」 9億2,790万円
- 「農業施設災害復旧事業」 3億2,300万円
- 「公共土木施設災害復旧事業」 3億 530万円
- 「岡ノ内池整備事業」 2,110万円
- 「災害廃棄物処理事業」 6,241万円

◆防災関係事業

- 「第2分団ポンプ車購入事業」 1,600万円

◆町制施行50周年記念事業

- 「記念式典事業」 591万円

◆被災者支援事業

- 「応急仮設住宅維持管理事業」 884万円
- 「災害援護資金貸付事業」 775万円

◆原子力災害対策事業

- 「除染対策事業」 9億9,166万円
- 「食品モニタリング事業」 728万円

◆進化する鏡石実行プロジェクト事業

- 「駅に降りてみたくなる事業」
駅周辺復興まちづくり計画策定事業 500万円
田んぼアートの実施事業 66万円
- 「住んでみたくなる事業」
住宅用太陽光発電導入促進振興補助事業 320万円

第5次総合計画に基づく行政分野別事業

I 町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！
～町民参加と行政運営分野～

- 「役場庁舎耐震診断事業」 250万円
- 「住基ネットシステム改修」 500万円

II 心豊かな人を育て、地域文化を大切にする鏡石をつくります！
～教育・スポーツ・健康づくり・文化振興分野～

- 「特別支援教育事業」 892万円
- 「子育て支援事業」 498万円
- 「語学指導等外国青年誘致事業」 529万円
- 「被災者健康支援体制整備事業」 214万円

III 地域で支えあう、人にやさしい鏡石をつくります！
～福祉・安心安全・コミュニティ形成分野～

- 「子ども医療助成事業」 5,000万円
- 「認定保育所支援事業」 8,100万円
- 「介護保険事業」 6億9,759万円

IV 新しい産業を开花させ、活力ある鏡石をつくります！
～産業振興分野～

- 「企業誘致奨励金事業」 1,129万円
- 「地域水田農業推進事業」 2,965万円
- 「ふれあいの森公園管理棟改築工事」 5,910万円

V 快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！
～都市整備・都市開発分野～

- 「鏡石駅東第1区画整理事業」 1億1,205万円
- 「第5次水道拡張事業」 9,497万円

町長説明要旨

東日本大震災から一年となります。本町でも震災や原発事故により、町民の皆さんの生活や産業面でも深刻な影響を受けました。町としても、応急から復旧へ各種災害工事、原子力災害対策、被災者支援事業など、これまで全力で取り組んでまいりました。今後も、復旧から復興・再生へ向け最優先課題として取り組む覚悟です。

今年度の事業の状況としては、各種災害復旧工事について、災害規模が膨大なため、多くの工事が繰り越しや次

年度発注となる状況ですが、早期発注、早期完成に向け事業を推進してまいります。

原発事故による放射能対策としては、この度の補正予算で計上した果樹の除染をはじめとして、町除染計画に基づき随時実施していく事となります。

第一小学校校舎改築事業については、3月末には、具体的な計画がまとまる予定であり、旧校舎の解体についても平成24年度前半には解体作業に着手する予定です。

平成24年度の予算については、過去最大規模の大割予算となりました。今年度は、町制施行50年という節目を迎え、半世紀という歴史を振り返り、

将来の鏡石町を展望して行く中で、まちの特性や地域資源を大切に守り育て「住んでみたくなるまちづくり」を進めてまいります。予算の編成にあたっては、第5次総合計画の基本理念である「かわる かがやく、牧場の朝のまち かがみいし」の実現に向け5つの柱を基軸に、復旧復興事業を最優先に各種事業の重点的かつ効果的な配分に努めました。

